

第22回自衛消防技術大会実施要領

1 実施日時

令和8年9月17日（木）13：00～16：00

※会場受付 12：30～12：50

2 実施場所

弘前市大字豊田二丁目 弘前市運動公園西側駐車場（別紙1参照）

3 競技要領

- (1) 1チームの競技者は3人とし、相互に協力して行う。
- (2) 第1コースと第2コースの2つのコースを設け、2チーム同時のスタートとするが、ハンディがあるチームはスタートからゴールまでの所要タイムからその時間分を減ずる。

- (3) 競技はスタートから屋内消火栓の放水により標的を倒すまでとし、その所要タイムと危険行為等の減点数を時間換算したものを最終的なチームのタイムとする。

- (4) スタート前にヘルメットを着装し、競技内容は以下のとおり4つの活動エリアとする。（別紙2参照）

ア A 消火エリア（初期消火活動）

ア 防火衣の着装

全員が手袋を着装し、A 消火エリアで消火器を操作する競技者及び D 放水エリアで放水する競技者のみ防火衣を着装する。（A 消火エリアで消火器を操作する競技者及び D 放水エリアで放水する競技者は同一とする。）

※ 着装を確実に行ってから次に移動すること。

イ 消火器による消火

防火衣を着装した者は、消火体験装置内の火炎を2メートル手前から水消火器で消火する。

審査員による赤旗の合図で「水バケツによる消火」に協力することができる。

ウ 水バケツによる消火

a 水が入っている簡易水槽からバケツを使用して、1.5メートル前方の標的を目がけ水をかけ、回転灯が点灯するか規定水量以上となるよう消火する。

b 審査員による赤旗の合図で次のエリアへ移ることができる。

- c 女性はバケツの大（銀色）・小（青色）どちらも使用できる。
- d 男性は小（青色）のみ使用する。

※ 消火器及び水バケツによる消火活動が終了しなければ次のB救出エリアには進めない。

イ B 救出エリア（逃げ遅れ者の救出活動）

2人協力して担架を搬送し、もう1人はスモークハウス入口（チャック）を開ける。担架を搬送する2人がハウス内に進入したら、1人はハウス外で入口（チャック）を閉め、出口へ先回りする。2人は煙が充満するスモークハウス内で、倒れている逃げ遅れ者（ダミー人形）を担架に移し出口に向かう。先回りした1人が出口（チャック）を開け、ハウス内から2人が出てきたら出口（チャック）を閉める。逃げ遅れ者を安全地帯まで搬送する。

ウ C 屋内消火栓エリア（屋内消火栓のホース延長）

3人が屋内消火栓に集合し、次の順番で操作する。

- (ア) 1人が屋内消火栓ボックス上部の起動ボタンを押し、ベルを鳴らす。
- (イ) 防火衣着装者（1番員）ともう1人（2番員）は、屋内消火栓の扉を開いて収納されているホース2本を延長し、1番員は筒先を構える。残る1人（3番員）は屋内消火栓基部に残る。
- (ウ) 1番員は筒先を構えたら2番員に対し「放水始め」と呼称し、2番員は「放水始め」と復唱する。
- (エ) 2番員は、ホース延長が完了し1番員からの指示である「放水始め」の復唱をしたら、3番員の前方2メートルの位置に至り、3番員の方を向いて手を上に上げて「放水始め」と呼称し、その後、1番員後方に至りホースを両手で保持し放水補助に当たる。
- (オ) 3番員は、2番員の「放水始め」の指示により、手を上に挙げて「放水始め」と復唱し放水口バルブを開いて放水を開始する。

エ D 放水エリア（放水消火活動）

1番員は、放水体制が整い屋内消火栓から火点となる標的に放水し、標的を倒す。ここでの活動はC屋内消火栓エリアと一連の動作となる。

- (5) その他競技に関する補足事項については、以下のとおりとする。

ア 競技開始は競技用スターターの合図により、スタート位置から3人同時にスタートする。

イ A・B・C・Dの4つのエリアについては、A 消火エリアから順にクリアする。

ウ A 消火エリアでは、最初に全員が手袋を着装し、D 放水エリアにおいて、放水担当となる競技者は防火衣を着装する。「消火器」と「水バケツ」での初期消火は2組に分かれて実施しても構わない。

エ A 消火エリアの「消火器」と「水バケツ」での初期消火及び B 救出エリアの救出活動では審査員による赤旗の合図で、次のエリアに移動することができる。

オ C 屋内消火栓エリアと D 放水エリアについては、一連の動作とする。

カ 競技終了は、D 放水エリアにおいて、放水により火点の標的が倒れた時点で終了とする。

4 順位確定方法等

(1) スタートから最後の標的を倒すまでの所要タイムを 1/100 秒まで計測する。

(2) 競技者女性 1 人に対し 7 秒をハンディタイムとして付与する。(所要タイムから 7 秒減じる)

(3) 競技中において、以下のような場合には減点項目としてそれぞれ 1 回につき 5 秒を加算する。

ア 手袋を装着しなかった、又は防火衣の着装に不備があった場合。(ボタンをしない等)

イ 審査員の赤旗による合図がないまま次のエリアに移動し、活動した場合。

ウ 逃げ遅れ者(ダミー人形)を担架から落下させるなど、乱暴に扱った場合。

エ 消火器、水バケツ、屋内消火栓のホース、筒先等の資器材を投げたり乱暴に取り扱った場合。

オ スモークハウス出入口のチャックを閉めない場合。

カ スモークハウス出入口を煽って煙を少なくした場合。

キ 屋内消火栓の起動ボタンを押さないで放水した場合。

ク 屋内消火栓の放水で「放水始め」の合図前に放水バルブを開放した場合。

ケ 各放水位置等のラインから出て活動を行なった場合。

コ ノズルを落下させた場合。

サ 審査員の指示に従わなかった場合。

シ その他危険な行為があったと認める場合。

(4) 順位について(1)～(4)の総合タイム(1/100 秒まで)の早い順とし、男性、女性、混合それぞれの部門で順位を決定する。さらに、総合の順位も決定する。

5 表彰について

男性、女性、混合の各部門それぞれ上位 3 位までを入賞とし、賞品及び賞状を授与する。(各部門の参加チームが 3 チームに満たない場合は、他の部門の

4位以下のチームから早いタイムのチームの順に賞品を授与する)
また、総合の1位には優勝カップと賞状をさらに授与する。

6 その他留意事項

(1) 参加者が準備するもの

ア 競技に支障のない服装（事業所の制服や作業服等でも可。放水等により濡れることを考慮すること。）

イ 活動しやすい靴

ウ 着替えやタオル等の他、小雨時は雨衣や傘

※ ヘルメット及び手袋（軍手）は、事務局で準備する。

(2) 大会の開催時間は16:00頃までの予定としているが、進行状況により短縮又は延長する場合がある。

(3) 小雨時は実施するが、荒天時は中止とする。なお、中止する場合は、大会当日午前8時までに事務局から参加チームに連絡する。

7 大会スタッフの留意事項

(1) 屋内消火栓箱内のホースや各エリアの設定は、各担当者がスタート前に確認すること。

(2) スモークハウス内には、スモークマシンの煙を充満させること。

(3) 消防ポンプ車の圧力は、0.4メガパスカルとする。

防災協会ホームページ QRコード



弘前地区消防防災協会事務局（消防本部予防課内）
担当 山田・毛内
電話 0172-32-5104 FAX 0172-33-9117
e-mail : bousai_k@hirosakifd.jp